



ゆずりは通信

(H29年10月)

●定例教育委員会での主な審議事項等（9月）

★第10回（H29.9.7）

- ・平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について
- ・平成30年度兵庫県公立高等学校入学者選抜要綱について
- ・平成30年度兵庫県立特別支援学校高等部入学者選考要綱について
- ・平成30年度使用県立学校教科用図書の採択について
- ・平成30年度使用県立特別支援学校教科用図書の採択について

★第11回（H29.9.21）

- ・平成29年度9月補正予算教育関係予算案に係る意見申出の件
- ・平成30年度重要施策について
- ・播磨東地区の教育の概要について
- ・第72回国民体育大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」（本国体）の開催について

※会議録及び会議資料は、教育委員会ホームページの教育委員会会議でご覧いただけます。

県教委TOPICS

●平成29年度第3回目の移動教育委員会を開催しました（H29.9.21）



第11回定例教育委員会を県立播磨農業高等学校において開催し、播磨東地区の教育の概要説明や議事が行われました。

会場となった同校では、生徒による学校概要プレゼンテーションや牛舎などの実習施設の現地説明が行われたほか、郷土伝統文化継承クラブの生徒達による播州歌舞伎が披露されました。

また、同日午前中には、平成27年4月から小学6年生が中学校に通う「5・4制」小中一貫教育に取り組む小野市立河合中学校を訪問。学校長の概要説明の後、6年生の算数では中学校の数学科の教員が指導する授業等を視察しました。どのクラスでも活発な意見交換が行われていました。

このほか、今年4月に県立フラワーセンター内に開館した県立考古博物館加西分館「古代鏡展示館」を視察。開催中の開館記念展2「三彩の俑たち 唐王朝のたたずまい」や、同館の収蔵品である貴重な古代鏡の数々を学芸員の説明を受けながら鑑賞しました。



移動教育委員会議の様子＝県立播磨農業高等学校

●日本スポーツマスターズ 2017 兵庫大会が開催されました (H29. 9. 15~9. 19)



はげしい攻防戦となったバスケットボール競技
兵庫Aチームは見事2位に

スポーツ愛好者の中でも競技志向の高いシニア世代(原則 35 歳以上)を対象としたスポーツの祭典である「日本スポーツマスターズ 2017 兵庫大会」が、全国から大会史上最多となる約 9,000 名の選手の参加により盛大に開催されました。

15 日神戸ポートピアホテルで行われた開会式(前夜祭)には、本大会の名誉総裁、高円宮妃久子殿下がご臨席になり「選手の方々には練習の成果を存分に発揮されることを祈っています」と激励のお言葉をいただくとともに、翌日 16 日には三木総合防災公園にあるブル



各競技は多くの方の力によって開催
大会運営を支えてくれた中学生、高校生のみなさん



日韓スポーツ交流・成人交歓交流事業として
2012 年から「日本スポーツマスターズ大会」への参加を中心に韓国選手団の受入を実施

ボンビーンズドームでのテニス競技、陸上競技場でのサッカー競技をご覧になりました。

台風 18 号が接近し、一部競技では日程変更も余儀なくされましたが、県内 10 市 27 会場(13 競技)で、多くの観戦者の声援を受けながら熱戦が繰り広げられました。兵庫県選手は、水泳の団体総合 2 位をはじめ、各競技で大健闘し、数々の好成績を残しました。

本大会は、「スポーツ立県ひょうご」の実現に向けた生涯スポーツの一層の推進、さらには 2021 年に関西一円で開催される 4 年に一度の生涯スポーツの国際総合競技大会である「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」に向けた機運醸成の機会にもなりました。

※大会結果は[こちら](#)からご覧いただけます。

●県立美術館 特別展「怖い絵」展が 27 万人を動員しました

平成 29 年 7 月 22 日(土)から 9 月 18 日(月・祝)の会期で開催された特別展「怖い絵」展は、連日多くの来館者で賑わい、特別展の観覧者数としては、「ゴッホ展」(平成 14 年)、「だまし絵」展(平成 21 年)に次ぐ歴代 3 位となる 27 万 1,689 人を記録しました。

続いて 10 月 3 日(火)にスタートした特別展「大エルミタージュ美術館展 オールドマスター西洋絵画の巨匠たち」も、西洋美術



の歴史において揺るぎない評価を得た作家の豪華作品が勢揃いする注目の展覧会です。お誘い合せのうえ、ぜひ県立美術館へお出かけください。



大勢の観覧者で賑わう展示室内の様子=県立美術館

ポール・ドラローシュ 《レディ・ジェーン・グレイの処刑》
1833 年 油彩・カンヴァス ロンドン・ナショナル・ギャラリー
Paul Delaroche, The Execution of Lady Jane Grey, © The National Gallery, London. Bequeathed by the Second Lord Cheylesmore, 1902

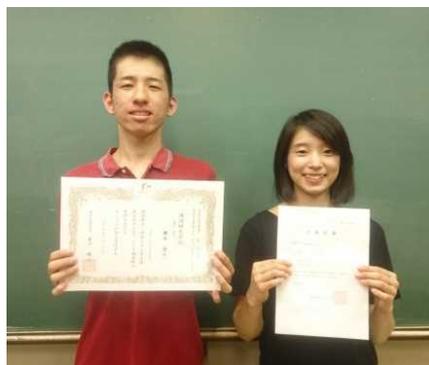
県立学校の取組報告

●県立湊川高等学校3年生が2年間の調理業務従事条件をクリアし調理師試験に初めて挑戦、2名が合格しました

定時制課程普通科の県立湊川高等学校では、魅力ある学校づくりの一つとして、2年前に調理師免許取得を目指す「ライフ・デザイン エリア」を新たに立ち上げました。生徒たちは調理実習や食品衛生、栄養、食文化など、食に関わる多くの科目を履修しています。この度、ライフ・デザイン エリア1期生である71回生（平成27年度入学生）の生徒8名が、7月に行われた平成29年度兵庫県調理師試験に初めて挑戦し、橋本陸斗君と熊井也実さんの2名が合格しました。



調理実習の様子



免許証と合格証書をもつ2人

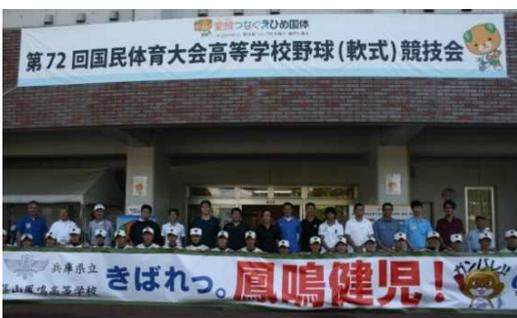
2名は、学校での授業に熱心に取り組みながらも、受験条件である『週24時間以上2年間の調理業務従事』を満たすために、入学直後からアルバイトを続けてきました。熊井さんは合格後、「放課後も残って勉強して良かったと思う。やはりやったことは形になる、やって良かったと実感した。勉強やアルバイトを頑張っていなかったら、この感覚はなかった」と、今までの努力が形になった喜びを口にしていました。また橋本君は、「試験の数か月前から、1日2時間以上は勉強するようにした。後輩のみんなにも、無理しないほどにやってほしい。自分のペースを大事にして」と、これから調理師試験合格を目指す後輩に、エールを送りました。

※湊川高等学校のホームページはこちらからご覧いただけます。

●県立篠山鳳鳴高等学校軟式野球部が「愛顔（えがお）つなぐ愛媛国体」に出場しました

篠山鳳鳴高等学校軟式野球部は、（公財）日本高等学校野球連盟の国体出場校選考委員会の結果を受け、第72回国民体育大会高等学校野球競技に出場する機会を得ました。

本校の初戦となる2回戦は10月7日（土）に行われる予定でしたが、天候の関係で順延し、翌8日（日）に仙台商業高校（宮城県）と対戦しました。両校とも得点を全く許さず、試合は延長戦に突入し、規定によりタイブレークへ。延長10回の裏、2アウトからの一打により0対1のサヨナラ負けを喫する結果となりましたが、夏の兵庫県大会、そして全国大会で数々の延長戦を制してきた本チームは、最後まで粘りのある試合を展開しました。1・2年生にとっては、引退後、本大会のために2週間前から本格的に練習に復帰した3年生と共に戦う最後の大会が、そして3年生にとってはすべての大舞台が終わった瞬間でもありました。



会場の宇和島市の南にある愛媛県愛南町には、高知県との境に「篠山」という山があることから、兵庫県篠山市と姉妹都市としての交流を行っています。その縁から、スタンドには「きばれっ。鳳鳴健児！」という横断幕と愛南町の職員による応援がありました。「きばれ」は方言で「頑張れ」を意味し、地元篠山市のみならず愛南町からの応援は、何よりの励みとなりました。
(次ページへつづく)

本校の教育目標の一つに、「地域社会の発展に寄与する人間を育成する」とあります。今回軟式野球部が国民体育大会に出場するに当たり、地域ぐるみで学校や生徒を支えようとする取り組みの



大切さを痛感いたしました。兵庫県からの応援、愛媛県愛南町からの声援、そして何より地元である篠山市民の方々からの温かい激励に触れることができ、学校としても試合の結果以上に大きなものを得たと確信しています。

※篠山鳳鳴高等学校のホームページは

こちらからご覧いただけます。

● 県立学校が県庁の緑化に取り組んでいます

10月は、県立篠山産業高等学校の生活科の生徒による作品です。生活科では、「種まきから食卓まで」を合い言葉に、生きるための「食」の生産や丹波篠山特産物の栽培から、食品加工や調理までを学んでいます。



今回のテーマは「実りの秋 農都篠山」。地元名産の「丹波篠山大黒豆」、「丹波篠山大納言小豆」、「丹波篠山山の芋」など、実際に実習で栽培している生産物が、ガーデニング風にアレンジされた作品です。秋の味覚の代表格である

かぼちゃと栗が「豊穰の秋」の雰囲気演出しています。展示期間は10月末まで。県庁にお越しの際には、ぜひお立ち寄り「秋の味覚」を満喫してください。 ※学校PR等はワンショットニュースで発信しています。



県立篠山産業高校による作品＝兵庫県庁

● 「第7回たんぱっ子！学びフェスタ」を開催します（丹波教育事務所）

丹波地域の学力向上に資するよう、子どもたちが学ぶ楽しさを体験するとともに、地域の魅力を知ること、ふるさと丹波への愛着や誇りを持ち、地域に貢献しようとする態度の育成を目指し、今年も「たんぱっ子！学びフェスタ」を開催します。県下各地からふるってご参加下さい。

○日時 平成29年11月23日（木・祝）10時～15時（受付9時30分～）

○場所 篠山市立四季の森生涯学習センター（篠山市網掛429）

○主なプログラム（地元高校生ボランティアが運営に参画します。）

・「チャレンジQ」※事前申込要

漢字部門と算数部門（学年別にクイズ形式の問題に挑戦）

※参加資格 丹波地域の小学2年生～6年生及び保護者

・「おもしろワークショップ」

高校生や地域団体による体験学習コーナー

・「県立学校の魅力発信！」

管内県立学校の魅力・特色をパネルで展示

・「丹波地域まちの自慢発表」

管内4小学校におけるふるさと学習の成果を発表

・地元高校生による昼食の無料サービス

篠山産業高校：トマカレ 氷上西高校：土田うどん

篠山東雲高校：枝豆ごはんおにぎり

※詳細は丹波教育事務所のホームページをご覧ください。



「チャレンジQ」に挑戦！（昨年度）



おもしろワークショップ（昨年度）
「よく飛ぶ紙飛行機を作ろう！」

教育委員からのメッセージ

「天職」と「適職」

清水 勲夫 教育委員



「天職」とは、自分が得意で興味や関心、思い入れや時に憧れを持つ仕事、ということが出来ます。一方で「適職」とは、それに十分関わられる、適応できる、やっていける（食べていける）、の意味になります。やりたい仕事が出来ていける仕事になればいいのですが、そこには問題が。つまり、現場には新しい環境やルール、秩序があり、上司・先輩・同僚や顧客、それぞれに関わっていくという現実的な、また回りをそれなりに納得させる努力が必要になります。まったく経験のない世界で生きるには意志、意欲と共に辛抱、根気が要る。少しずつ自信をつけたいが、自信は経験でしか身に着きません。辛抱や我慢の経験が弱いまま「天職」を目指すと、行き詰まりも早くなるのではないかと思います。いろいろな考え方、受けとめ方を知り学ぶこと、それが良い結果を作り出していくことにつながることを学ぶのです。そんな実践的な体験を行うことが「キャリア教育」の基本だと思うのです。

今後のイベント情報

★美術館・博物館等の催し案内

施設名	主な催しもの	期間
県立美術館	特別展 <u>大エルミタージュ美術館展</u> <u>オールドマスター 西洋絵画の巨匠たち</u>	H29. 10. 3(火) ~ H30. 1. 14(日)
県立人と自然の博物館	開館 25 周年記念展示 <u>「ひととく研究員のいちおし 25 選</u> <u>(秋の部)」</u>	H29. 10. 7(土) ~ H30. 1. 8(月・祝)
	緊急速報展 <u>ヒアリとアカカミアリ</u>	H29. 7. 1(土) ~ H30. 1. 8(月・祝)
	収蔵資料展 <u>「ひょうごの針葉樹」</u>	H29. 10. 7(土) ~ H30. 1. 8(月・祝)
県立歴史博物館	特別展 <u>ひょうごと秀吉</u> <u>—近年の新紹介資料を交えて—</u>	H29. 10. 7(土) ~ H29. 11. 26(日)
県立考古博物館	開館 10 周年記念特別展 <u>青銅の鐸と武器—弥生時代の交流—</u>	H29. 10. 7(土) ~ H29. 11. 26(日)
県立考古博物館加西分館 「古代鏡展示館」	開館記念展 2 <u>三彩の俑たち 唐王朝のたたずまい</u>	H29. 9. 7(木) ~ H30. 3. 13(火)